

平成31年度 倉吉スターガーデンデイサービスセンター 事業計画

事業所名	倉吉スターガーデンデイサービスセンター		
施設長・管理者名	施設長兼管理者 石賀 康丈		
実施事業	指定通所介護事業 介護予防通所介護相当サービス事業（日常生活支援総合事業） 日中一時支援事業（障害者地域生活支援事業）		
開設年月日	平成6年4月1日		
所在地	鳥取県倉吉市福守町491		
正規職員数	2名		
準職員	4名		
契約職員	7名		
定員	30名	目標利用者数 20名/日	利用率 80%
職員配置	管理者1名、生活相談員1名、介護職員7名（内生活相談員兼2名） 看護師2名、調理員2名 計13名		

1 基本方針

要介護状態等の心身の特性を踏まえて、ご利用様が可能な限り住み慣れた場所で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、さらにご利用様の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、並びにご家族様の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の支援及びその他の必要な援助を行います。

またご利用様の人権と安全を確保した介護の提供と、個人の尊重と尊厳をもったサービスの提供をします。

2 運営

法人基本理念を行動規範として、全職員が以下の目標をもって事業活動を行います。

- (1) 『思いやり』と『感謝（おかげさま）の心』を持って、ご利用様やご家族様及び私たち職員が幸せを感じることでできる施設づくりに注力して取り組みます。
- (2) ご利用者様、ご家族様、地域の皆様から信頼される施設を目指します。
- (3) ご利用者様本位の接遇、職員間の良好なコミュニケーションを施設運営の心得とし、言葉使い・態度など親切丁寧なサービスを提供します。
- (4) ご利用者様への支援 ～ 重点実施事項 ～

① 『自立支援と認知症ケア』

ケアプランに基づいた個々の生活機能向上を目指した通所介護計画を作成し専門的なサービス及び下記のプログラムを提供し定期的な評価を行います。

ア 身体機能低下の予防・・・運動療法・介護予防体操

イ 口腔機能向上・・・・・・・・嚥下体操・口腔ケア

- ウ 心身機能の活性化・・・目的を持ったレクリエーション活動
無理せず楽しみながら身体を動かす
脳の活性化につながる手先・指先を動かす
心を動かし脳も活性化する歌や音楽
ご利用者様同士の交流を楽しむ
- エ 社会性の維持向上・・・高校生ボランティアとの計画的な交流活動
地域ボランティア・園児・中高学生等との交流
好楽地・ランチ・買物等への地域外出活動
- オ 認知症予防・・・・・・・・臨床美術（クリニカルアート）・脳体操
クイズ・計算・漢字等のドリル

② 『笑顔と喜び』

私たち職員は、感謝を言葉に表し、皆様に笑顔と喜びを提供します。

③ 『思いを支えてこそ介護』

お一人おひとりの「思い」に耳を傾け、ご利用者様とご家族様の主体的な暮らし、そして自己実現を支援します。

- (5) 業務改善を推進し、広く職員の意見を取り入れ、改善提案を基に業務の効率化と負担の軽減並びに経費削減を図ります。
- (6) 施設の有効活用並びに長期的かつ安定的な経営基盤の確立を目指すため関係機関に定期的に訪問をします。
- (7) 定員充足をするため活動目標を掲げ計画的かつ継続的に取り組みます。
- (8) 私たち職員一人ひとりが意欲・能力を存分に発揮できる職場環境づくりに取り組みます。

3 主な実施事業

(1) 施設整備事業

なし

(2) 事業活動

① 介護予防活動事業

- ・カイロプラクターによる運動療法・・・・・・・・・・・・・月 2 回
- ・柔道整復師による介護予防体操・・・・・・・・・・・・・週 5 回
- ・機能訓練指導員による介護予防体操・・・・・・・・・・・・・毎 日

② 認知症予防活動事業

- ・臨床美術士による臨床美術（クリニカルアート）・・・・・・ 月 2 回
- ・認知症予防を目的とした脳体操・レクリエーション・・・・・・ 毎 日
- ・認知症介護実践者研修修了者による認知症ケア・・・・・・ 毎 日

③ 食を楽しむ ～日本全国味めぐり～ 事業

- ・毎月 19 日「食育の日」に全国の郷土料理を提供・・・・・・ 月 1 回

④ 外出活動事業

- ・好楽地・ランチ・買物等への外出とドライブ・・・・・・・・・・ 随 時

⑤ 地域交流活動事業

・地域ボランティア・園児・中学生等との交流・・・・・・・・月1回

⑥ 異世代交流活動事業

・中央高等学園専修学校との交流・・・・・・・・月1回

⑦ 三朝温泉（ラジューム温泉）活用事業

・優れた効能を有する三朝温泉の湯で温泉入浴・・・・週3回

4 安全管理・衛生管理

- (1) 感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。
- (2) メンタルヘルス・腰痛予防等職員の心身にわたる健康づくりに取り組みます。
- (3) ご利用者様が安全かつ安心して生活していただけるよう、ヒヤリハットの実践などリスクマネジメントを行い、事故防止に努めます。
- (4) 施設の整備・備品等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具等のメンテナンスを徹底し、環境整備に努めます。

5 防火・防災・救助体制

防災計画及び災害対応マニュアルに則り、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。

- (1) 防火管理者が中心となり、ご利用者様の実態に即した防災訓練（年2回）の計画・実施を行う。
- (2) 防災活動への参加、地域防災状況の把握、マニュアル等有事に迅速な対応ができる環境整備を行い、ご利用者様の安全の確保を行います。

6 職員の資質の向上と研修

施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。

(1) 外部研修・発表会への参加

- ① 高齢者介護研修・初任研修等を通じ、キャリアアップ研修等を通じ自己研鑽を促します。
- ② 介護専門職研修を通じ、介護技術の習得を目指します。
- ③ 実務経験の少ない職員に対しレベルアップを目的に、介護技術・知識習得等の施設外研修会への参加を積極的に行います。

(2) 法人内部研修への参加

研修内容に応じた関係職員を積極的に参加させキャリアアップを図ります。

(3) 施設内の OJT・職場研修の実施

全職員及び新人職員の資質向上を目指し、OJT を行う体制の整備を強化すると共に、各委員会及び各専門職による年間計画に基づいた施設内研修会を開催します。

(4) 職員の資格取得のための取組み

法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格取得意欲の増進とキャリアアップを促進します。

(5) 福祉専門分野の研鑽と資質の向上を目的とし事例研究に取り組みます。

- ・取組題数：年1題
- ・事例発表：社会福祉法人みのり福祉会 高齢者福祉専門部会 事例発表会
鳥取県福祉研究学会（鳥取県社会福祉協議会） 研究発表会

7 各種団体との連携と地域交流

地域社会との共生を図り、地域福祉への貢献を目指します。

(1) 広報誌の発行・配布

施設機能及び役割を広く地域の皆様へPRし、交流の懸け橋となることを目的に広報誌「倉吉スターガーデン便り」を発行し地域に配布します。

- ・発行回数：年4回
- ・配布先：倉吉市内の地域包括支援センター・居宅介護事業所・病院の地域連携室・近隣地区公民館・近隣自治公民館長及び民生児童委員

(2) 地域交流行事・地域との連携強化

① 地域に貢献する施設として連携及び交流を図ることを目的に地域交流行事を開催します。

- ・開催回数：年4回
- ・実施内容：4月 創立記念式典、8月 福祉の里まつり、9月 敬老祝賀会
11月 福祉の里文化祭

② 施設の専門機能を地域へ還元することを目的に専門職の地域派遣を行います。

- ・派遣回数：年3回以上
- ・実施内容：地域サロン講習会へ柔道整復師・介護福祉士を派遣
小学生への認知症理解のための絵本教室事業へ介護福祉士を派遣

③ 法人各施設で行なっている地域での文化活動を推進します。

④ ボランティア活動等の受入を積極的に行い、ご利用者様と地域社会との連携強化に努めます。

⑤ 地域福祉の推進を目的とし、高校生ボランティア活動・中高生介護の仕事体験・中学生ボランティアスクール・職場体験学習・実務者研修の実習等を積極的に受け入れ学習や活動の場を提供します。

8 年間行事等

別紙のとおり